

資料編 推計結果

第1章 ごみ処理量等の推計方法

1.1 推計方針

国の基本方針、県の廃棄物処理計画を踏まえ、循環型社会の形成を目指して実施する取り組みを考慮して計画値を設定します。

1.2 基本目標

本市のこれまでの取り組みによる成果、本市の地域性、人口の予測値を踏まえ、将来のごみ排出量、ごみ処理量等を定めます。

表 1-1-1 国・県の資源化・減量化目標

項目 区分	目標値の出典	目標値の内容
国	廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る為の基本的な方針（平成28年1月）	平成24年度に対して平成32年度において排出量を約12%削減し、排出量に対する再生利用量の割合を約21%から約27%に増加するとともに、最終処分量を約14%削減する。
	循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月）	2025年度においてごみ排出量原単位850g/人・日
滋賀県	第四次滋賀県廃棄物処理計画（平成28年7月）	令和2年度においてごみ排出量原単位820g/人・日
甲賀市	○前回計画 一般廃棄物処理基本計画（平成27年3月）	平成31年度までに原単位844g/人・日（平成19年度の原単位実績値に対して家庭系ごみ3%削減、事業系ごみ5%削減）

1.3 推計の方法

(1) 人口

本市の総合計画数値「甲賀流まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年2月）」の将来推計人口をベースに、平成31年の実績人口で補正して算出しており、本計画独自のものとなります。

(2) ごみ排出量

㍿ 家庭系ごみ（1人1日平均ごみ排出量）

人口減少に伴うごみ量の推移をもとに、令和10年度で平成30年度比3%削減されるようにし、それまでの間は等差級数的に減少するように設定します。

㍿ 事業系ごみ（1人1日平均ごみ排出量）

人口減少に伴うごみ量の推移をもとに、令和10年度で平成30年度比3%削減されるようにし、それまでの間は等差級数的に減少するように設定します。

ウ 可燃ごみ処理量（年間値）

家庭系可燃ごみ（収集）は、家庭系ごみ総量からその他のごみ予測値を減算して求めます。

家庭系可燃ごみ（直接搬入）は、平成 30 年度の実績値 1,906t/年から平成 24 年度の実績値 1,060t/年まで令和 10 年度に減少するように設定します。

事業系可燃ごみ量は、事業系ごみ（1 人 1 日平均ごみ排出量）から求めた値と同じとします。

エ 不燃ごみ処理量（年間値）

令和 10 年度で平成 30 年度比 3%削減されるようにし、それまでの間は等差級数的に減少するように設定します。

オ 資源ごみ処理量（年間値）

堆肥化量等の資源ごみ量増加（生ごみ堆肥化率上昇）により、平成 30 年度の実績値 4,123t/年から令和 10 年度に 240t/年増加した 4,363t/年になるように設定します。

カ 粗大ごみ処理量（年間値）

平成 30 年度の実績値 484t/年から平成 24 年度の実績値 251t/年まで令和 10 年度に減少するように設定します。

キ 資源化量、リサイクル率（年間値）

平成 24 年度から平成 30 年度における資源化量と資源ごみ量の比率（1.0255）に、資源ごみ量の見込み値を乗じて、資源化量を求めます。

リサイクル率は、資源化量に家庭系ごみの合計を除いて求めます。

1.4 予測結果

上述の設定条件に基づき将来の計画値を予測した結果を表 資 1-1～表 資 1-2 に示します。

○表 資-1 ごみ排出量の実績・予測

○表 資-2 処理内訳の実績・予測

【参考資料】

○環境省 一般廃棄物処理実態調査

○甲賀市 収集量、資源化量データ

○甲賀市 家庭系ごみ内訳

表 資1-1 ごみ排出量の実績・予測

年	← 予測値												計画年度			備考	
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		2027
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
総人口	93,681	93,154	93,368	92,836	92,195	91,724	91,410	90,974	90,641	90,310	89,979	89,648	89,317	88,986	88,675	88,363	88,052
総ごみ排出量	29,401	29,687	29,908	30,255	29,407	28,968	28,648	28,592	28,315	28,126	27,938	27,827	27,564	27,378	27,199	27,094	26,841
家庭系ごみ	19,229	19,517	19,684	19,596	19,147	19,194	19,128	19,088	18,909	18,783	18,658	18,583	18,408	18,284	18,164	18,094	17,925
事業系ごみ	10,172	10,170	10,224	10,659	10,260	9,774	9,520	9,494	9,405	9,343	9,280	9,243	9,156	9,094	9,035	9,000	8,916
1人1日平均ごみ排出量	875	870	882	895	877	868	862	858	856	853	851	848	846	843	840	838	835
家庭系ごみ	572	572	580	579	571	575	575	573	572	570	568	566	565	563	561	559	558
事業系ごみ	303	298	301	315	306	293	286	285	284	283	283	282	281	280	279	278	277

表 資1-2 処理内訳の実績・予測

年	← 予測値												計画年度			備考	
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		2027
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
家庭系	19,229	19,517	19,684	19,596	19,147	19,194	19,128	19,088	18,909	18,783	18,658	18,583	18,408	18,284	18,164	18,094	17,925
可燃ごみ(収集)	12,639	12,103	12,153	12,070	11,967	12,026	11,944	11,996	11,903	11,863	11,823	11,835	11,745	11,707	11,673	11,689	11,600
可燃ごみ(直接搬入)	1,060	1,710	1,619	1,680	1,576	1,822	1,906	1,821	1,737	1,652	1,568	1,483	1,398	1,314	1,229	1,145	1,060
不燃ごみ	592	598	605	674	624	647	667	665	663	661	659	657	655	653	651	649	647
資源ごみ	4,665	4,710	4,948	4,757	4,562	4,229	4,123	4,141	4,165	4,189	4,213	4,237	4,261	4,285	4,309	4,333	4,363
その他のごみ	22	22	29	28	29	17	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
粗大ごみ	251	374	330	387	389	453	484	461	437	414	391	368	344	321	298	274	251
事業系	12,827	10,170	10,224	10,659	10,260	9,774	9,520	9,494	9,405	9,343	9,280	9,243	9,156	9,094	9,035	9,000	8,916
可燃ごみ(実態調査報告)	12,827	10,170	10,224	10,659	10,260	9,774	9,520	9,494	9,405	9,343	9,280	9,243	9,156	9,094	9,035	9,000	8,916
資源化量	4,707	4,755	5,197	4,988	4,750	4,262	4,173	4,247	4,271	4,296	4,320	4,345	4,370	4,394	4,419	4,444	4,474
リサイクル率	24.5%	24.4%	26.4%	25.5%	24.8%	22.2%	21.8%	22.2%	22.6%	22.9%	23.2%	23.4%	23.7%	24.0%	24.3%	24.6%	25.0%
家庭生ごみ堆肥化	1,496	1,579	1,632	1,635	1,564	1,359	1,305	1,329	1,353	1,377	1,401	1,425	1,449	1,473	1,497	1,521	1,545

第2章 生活排水処理等の推計方法

2.1 推計方針

国の社会資本整備重点計画、県の汚水処理施設整備構想を踏まえ、良好な水環境の保全を目指して実施する取り組みを考慮して計画値を設定します。

2.2 基本目標

本市のこれまでの取り組みによる成果、本市の地域性、人口の予測値を踏まえ、将来の処理形態別人口、し尿等処理量を定めます。

2.3 推計の方法

(1) 総人口

ごみ処理計画と同値とします。

(2) 処理形態別人口実績値

実績値は環境省一般廃棄物処理実態調査の平成24年度～平成29年度版に示された値を基本に整理します。

環境省一般廃棄物処理実態調査では農業集落排水施設人口が示されていないため、市独自の資料における浄化槽人口の内訳から構成比を算出し、それを浄化槽人口に乗じて農業集落排水施設人口及び合併処理浄化槽人口を算出します。

(3) 公共下水道人口

令和10年度に総人口に対する公共下水道人口の割合が78.1%（生活排水処理率96%相当値）となるよう設定し、それまでの間は割合が等差級数的に増加するように算出します。

(4) 合併浄化槽人口

平成29年度（15,501人）から平成30年度（15,573人）の年間72人の増加をピークとし、令和元年度から令和3年度の伸びはその6割、令和4年度から令和7年度はその3割、令和8年度から令和10年度は伸び率0として設定します。各年度の値に、前年度からの人口減少率を乗じて算出します。

2.4 予測結果

2.1から2.3の設計条件に基づき、将来の計画値を予測した結果を表 資2-1に示します。

表 資2-1 生活排水処理の見込み

	→ 予測値																	計画年度	
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028		
年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
総人口	92,022	93,440	92,911	92,410	91,867	91,415	91,104	90,974	90,641	90,310	89,979	89,648	89,317	88,986	88,674	88,363	88,052		
処理形態別人口																			
公下水道人口及び合併処理浄化槽人口の合計	73,724	76,127	76,549	76,982	77,200	77,316	77,421	78,282	78,985	79,718	80,422	81,120	81,810	82,494	83,168	83,833	84,491		
公下水道人口	55,503	59,203	60,047	60,761	61,276	61,815	61,848	62,688	63,383	64,073	64,756	65,432	66,101	66,764	67,435	68,099	68,757		
合併浄化槽人口	18,221	16,924	16,502	16,221	15,924	15,501	15,573	15,594	15,602	15,645	15,667	15,688	15,709	15,730	15,734	15,734	15,734		
生活排水処理率 (%)	80.1	81.5	82.4	83.3	84.0	84.6	85.0	86.0	87.1	88.3	89.4	90.5	91.6	92.7	93.8	94.9	96.0		
水洗化・生活排水未処理人口・単独処理浄化槽人口	7,809	7,253	7,073	6,953	6,824	6,644	6,675	6,180	5,662	5,130	4,612	4,098	3,587	3,079	2,587	2,099	1,614		
非水洗化人口	10,489	10,060	9,289	8,475	7,843	7,455	7,008	6,513	5,995	5,463	4,945	4,431	3,920	3,412	2,920	2,432	1,947		
し尿汲み取り人口	9,816	9,387	9,289	8,475	7,843	7,455	7,008	6,513	5,995	5,463	4,945	4,431	3,920	3,412	2,920	2,432	1,947		
自家処理人口	673	673	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生活排水未処理人口	18,298	17,313	16,362	15,428	14,667	14,099	13,683	12,692	11,656	10,592	9,557	8,528	7,507	6,492	5,506	4,530	3,561		